

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成29年2月23日(2017.2.23)

【公開番号】特開2016-193917(P2016-193917A)

【公開日】平成28年11月17日(2016.11.17)

【年通号数】公開・登録公報2016-064

【出願番号】特願2016-105792(P2016-105792)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/702 (2006.01)

A 6 1 K 31/7016 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/10 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 39/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/702

A 6 1 K 31/7016

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 31/10

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 39/02

【手続補正書】

【提出日】平成29年1月17日(2017.1.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

対象における細胞外ヒストンの細胞毒性活性を阻害することにより敗血症を処置するための薬学的組成物であって、多価陰イオンの有効量を含み、

該多価陰イオンが、一般構造(I)を有する多価陰イオンオリゴ糖：

A - (B)_n - D (I)

(式中、

AおよびBが各々独立して、環状单糖類であり；

Dが環状单糖類であり；

nが、0、1、および2より選択される整数であり；

ここで環状单糖類の各々がOSO₃⁻で独立して置換されてもよく；

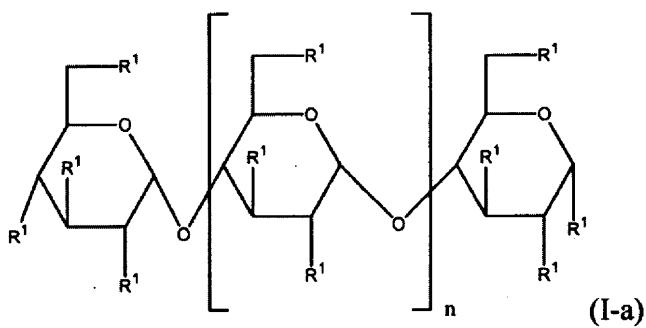
ここで多価陰イオンオリゴ糖が、少なくとも2つのOSO₃⁻置換基を含み；かつ

環状单糖類が、グルコース、ガラクトースおよびフルクトースからなる群より独立して選択される）

である、薬学的組成物。

【請求項2】

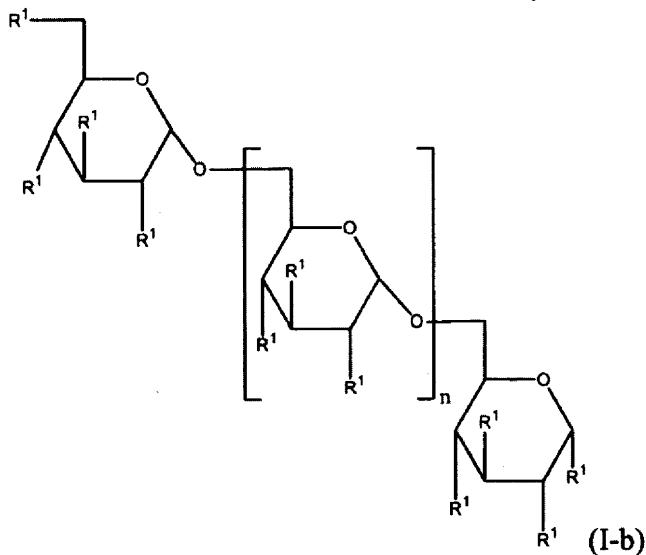
多価陰イオンオリゴ糖が一般構造(I-a)を有する、請求項1記載の薬学的組成物：



式中で各 R^1 が、 OSO_3^- 、 または OH より独立して選択され；かつ n が 0 、 1 、および 2 の間の整数であり；かつ R^1 の少なくとも 2 つが、 OSO_3^- である。

【請求項 3】

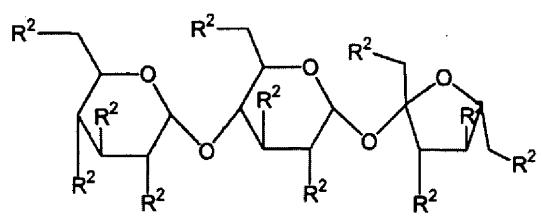
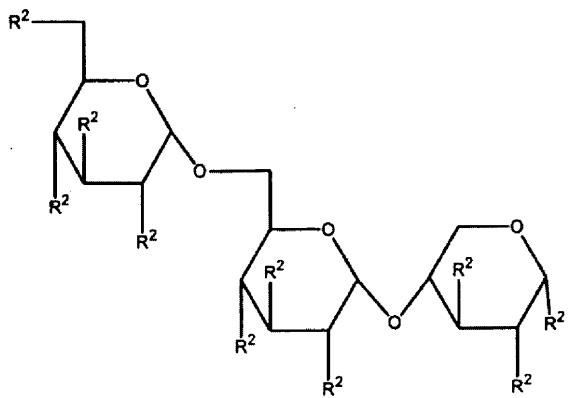
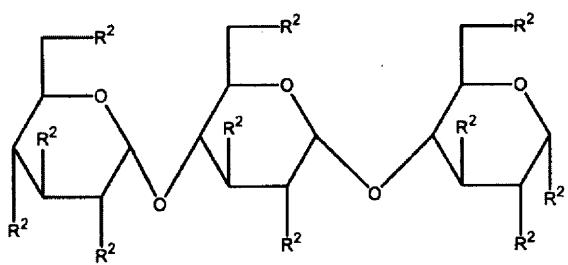
多価陰イオンオリゴ糖が一般構造 (I - b) を有する、請求項 1 記載の薬学的組成物：

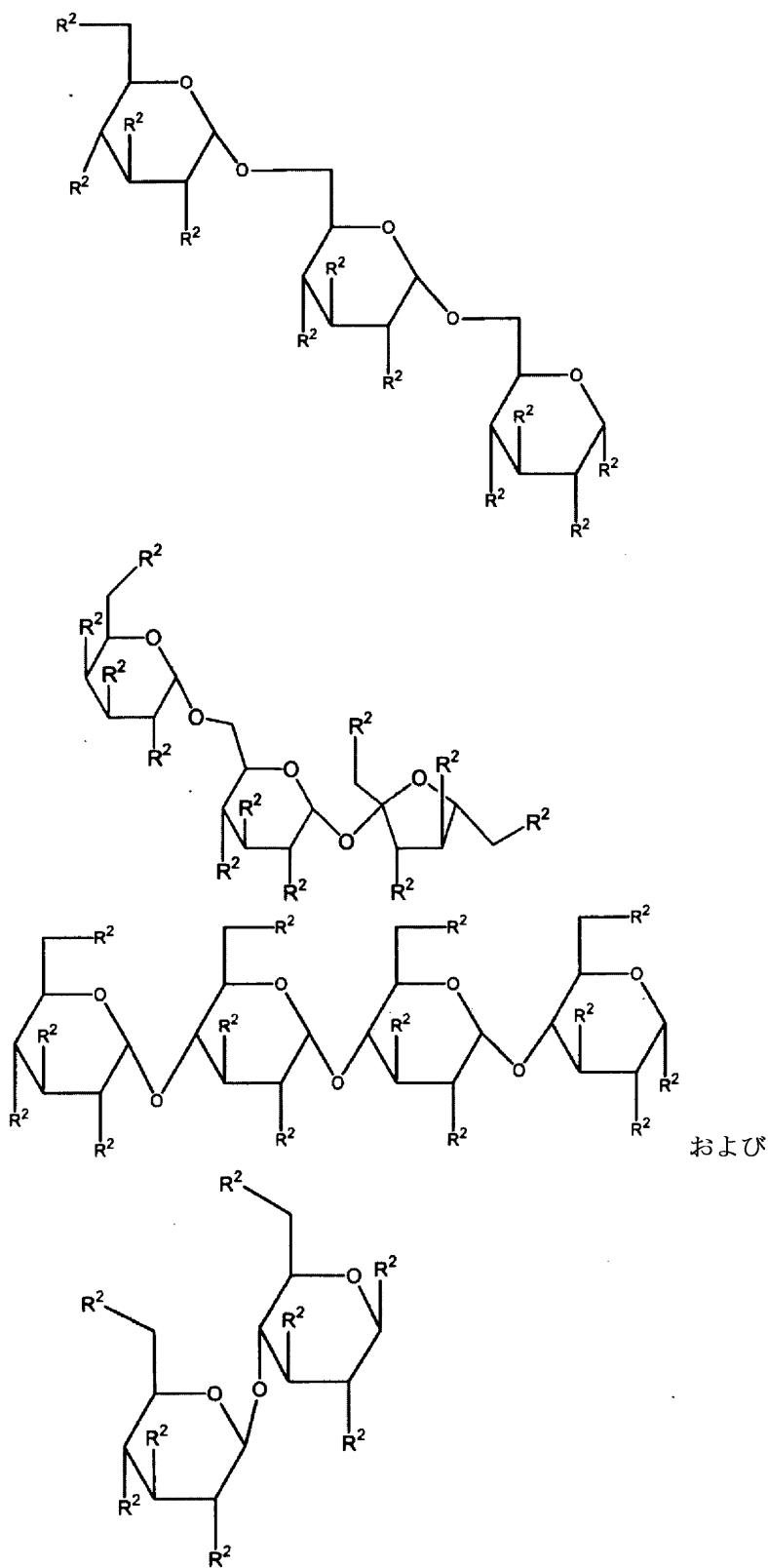


ここで各 R^1 が、 OSO_3^- 、 または OH より独立して選択され；かつ n が 0 、 1 、および 2 の間の整数であり；かつ R^1 の少なくとも 2 つが、 OSO_3^- である。

【請求項 4】

多価陰イオンオリゴ糖が、以下からなる群より選択される、請求項 1 記載の薬学的組成物：





式中で各 R² が、 O S O₃⁻ 、 または O H より独立して選択され；かつ R² の少なくとも 2つが、 O S O₃⁻ である。

【請求項 5】

多価陰イオンオリゴ糖が、マルトース硫酸、マルトトリオース硫酸、マルトテトラオース硫酸、パノース硫酸、エルロース硫酸、およびセロビオース硫酸からなる群より選択される、請求項 1 記載の薬学的組成物。

【請求項 6】

多価陰イオンオリゴ糖が、マルトトリオース硫酸、パノース硫酸、およびエルロース硫

酸からなる群より選択される、請求項 1 記載の薬学的組成物。

【請求項 7】

多価陰イオンオリゴ糖がセロビオース硫酸である、請求項 1 記載の薬学的組成物。

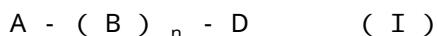
【請求項 8】

多価陰イオンオリゴ糖がマルトトリオース硫酸である、請求項 1 記載の薬学的組成物。

【請求項 9】

細胞外ヒストンの細胞毒性活性を阻害することによる敗血症の処置用の医薬の製造のための多価陰イオンの有効量の使用であつて、

該多価陰イオンが、一般構造 (I) を有する多価陰イオンオリゴ糖：



(式中、

A および B が各々独立して、環状単糖類であり；

D が環状単糖類であり；

n が、0、1、および 2 より選択される整数であり；

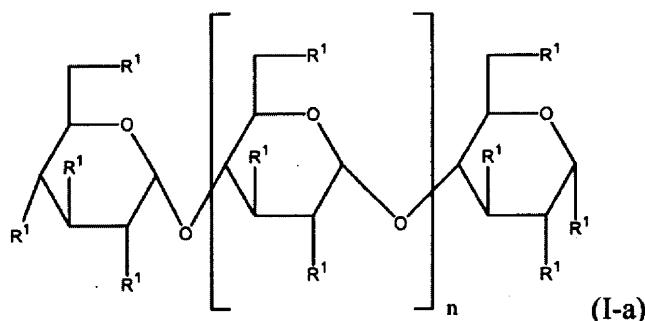
ここで環状単糖類の各々が OSO_3^- で独立して置換されてもよく；

ここで多価陰イオンオリゴ糖が、少なくとも 2 つの OSO_3^- 置換基を含み；かつ環状単糖類が、グルコース、ガラクトースおよびフルクトースからなる群より独立して選択される)

である、使用。

【請求項 10】

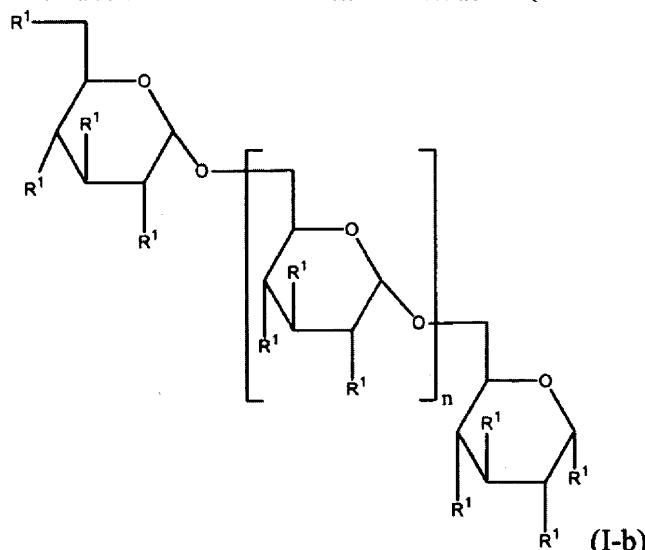
多価陰イオンオリゴ糖が一般構造 (I-a) を有する、請求項 9 記載の使用：



式中で各 R^1 が、 OSO_3^- 、または OH より独立して選択され；かつ n が 0、1、および 2 の間の整数であり；かつ R^1 の少なくとも 2 つが、 OSO_3^- である。

【請求項 11】

多価陰イオンオリゴ糖が一般構造 (I-b) を有する、請求項 9 記載の使用：

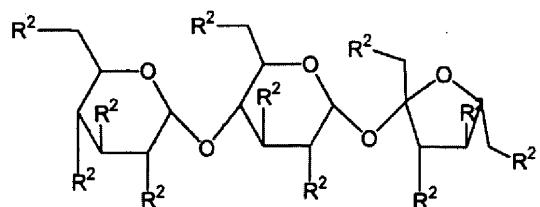
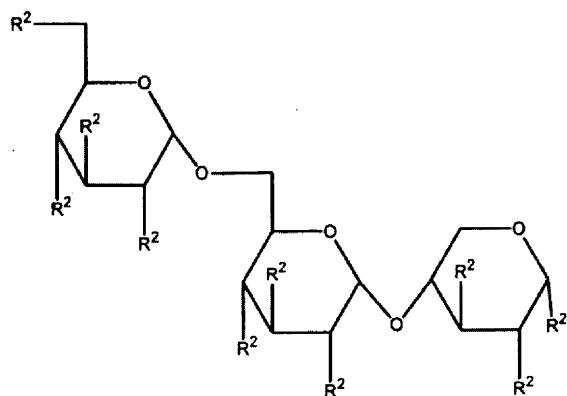
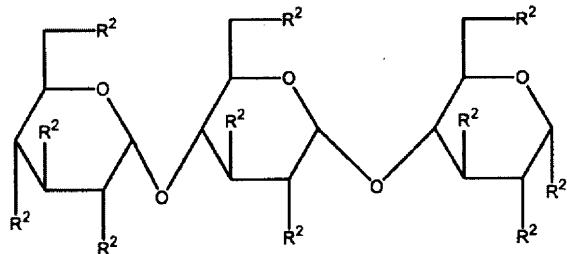


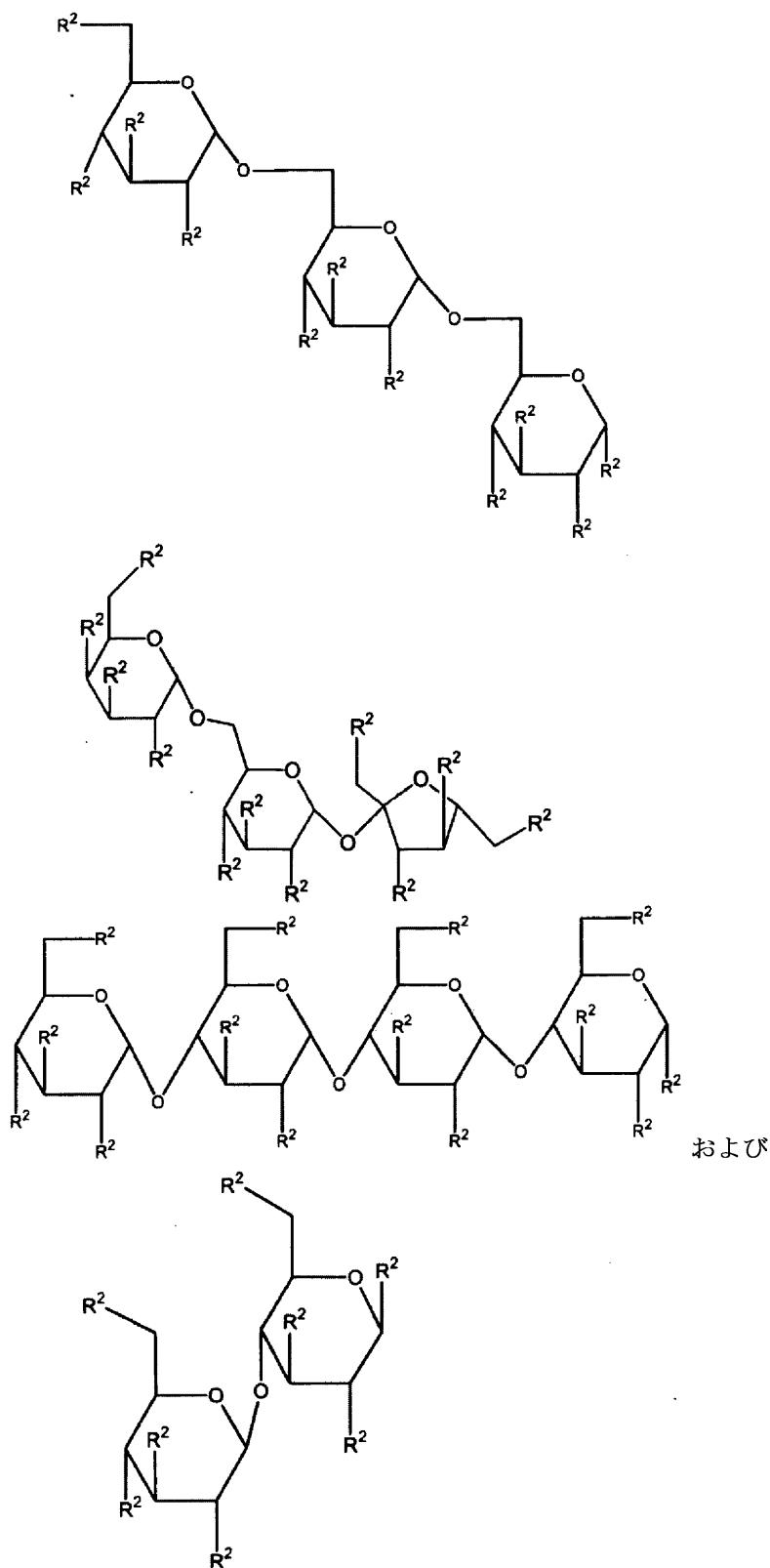
ここで各 R^1 が、 OSO_3^- 、または OH より独立して選択され；かつ n が 0、1、お

より 2 の間の整数であり；かつ R^1 の少なくとも 2 つが、 $O S O_3^-$ である。

【請求項 1 2】

多価陰イオンオリゴ糖が、以下からなる群より選択される、請求項 9 記載の使用：





式中で各 R^2 が、 OSO_3^- 、または OH より独立して選択され；かつ R^2 の少なくとも 2つが、 OSO_3^- である。

【請求項 1 3】

多価陰イオンオリゴ糖が、マルトース硫酸、マルトトリオース硫酸、マルトテトラオース硫酸、パノース硫酸、エルロース硫酸、およびセロビオース硫酸からなる群より選択される、請求項 9 記載の使用。

【請求項 1 4】

多価陰イオンオリゴ糖が、マルトトリオース硫酸、パノース硫酸、およびエルロース硫

酸からなる群より選択される、請求項1_3記載の使用。

【請求項15】

多価陰イオンオリゴ糖がマルトトリオース硫酸である、請求項1_3記載の使用。

【請求項16】

多価陰イオンオリゴ糖がセロビオース硫酸である、請求項1_3記載の使用。